

「なぜこわがるのか」

—マタイによる福音書講解説教 40—

詩篇

第107篇 23節～32節

マタイによる福音書

第9章 23節～27節

説教 岡村 恒牧師

「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちよ」
(26節)。主イエス・キリストは嵐に揺れる舟の
中で、怯える弟子たちにそう言われました。

この日、弟子たちは主イエス・キリストと一緒に舟に乗ってガリラヤ湖に漕ぎ出します。湖のことを良く知っている者にとってはたわいのない舟旅です。ところが突然、突風が吹き嵐になりました。弟子たちは恐れます。漁師としての知識と経験を総動員しても、もう死にそうだと思う状況でした。必死で舟を操作して何とか生き残ろうとしているさなか、おそらく木の葉のように翻弄される舟の中で、主イエスは眠っておられました。弟子たちは、一緒に舟に乗っている方が一体どなたなのかすっかり忘れていました。そして恐れ、惑い、叫ぶようにして「主よ、助けて下さい」と願い出ます。主イエスはまず、弟子たちの弱さと恐れの本質に目をお向けになりました。弟子たちの顔をひとりひとり御覧になりながら彼らに問われます。「なぜこわがるのか」。あなたが恐れを抱いているのは何故か。何が一体私からあなたを引き離し、本当の平安、希望から遠ざけているのか。主イエスが風と海をお叱りになると、ガリラヤ湖の水面は全く平らな、大風の湖面になります。嵐を叱りつけ、海を静めるといのは全知全能の神の力を表すものです。主イエス・キリストはこの日、御自分が父なる神と同じ力と権威をお持ちであることをはっきりとお見せになりました。

主イエス・キリストがなさったことを見て、弟子たちは感じます。「このかたはどういう人なのだろう」(27節)。この言葉には大きな悲しみや、悔い改めが入っています。舟に乗り込んだ時、弟子たちは思っていました。誰よりも私はこの御方のことを知っている。この御方が特別な御方、神が遣わされた御方であることも知っている。悪霊を追い出し、病を癒し、神の国の恵みを語られる方だ。また彼らの多くがこのガリラヤ湖について、舟について、水の上で生き延びることについても良く知っているはずでした。しかしこの出来事を通して、弟子たちは自分たちが何も知らないことに気付かされました。主イエスについて、神がお造りになったこの世界について、ガリラヤ湖や風や雲についても、そして自分自身についてもまだ何も知らないことを発見します。

人生には嵐があります。いや、私たちの人生そのものがいつでも嵐の中の人生です。この時弟子たちが抱えた恐れと不安を、実は私たち人

間の誰もが魂の奥に抱えています。嵐を目の当たりにしなくても、神について、ひとり子主イエス・キリストについて何もわかっていない。主が共に歩もうとしておられることもすっかり忘れて、自分の人生からひとり子イエス・キリストを除外して歩んでいる。この時の弟子たちと私たちは、同じ姿をしています。危機的な状況で、はたと主イエスを思い出して、「主よ、お助け下さい。私たちは死にそうです」とすがりつく他無い自分を発見します。

神に信頼し祈ることが出来なくなる場面。神の言葉が、自分の手に握っていたはずの約束が指の間からこぼれ落ちていくような場面。心の中に大きな穴があいたような状況。そういう時に、私たちはこの弟子たちの姿を、主イエスの姿を思い出したら良いと思います。『主よ、あなたに祈ることが出来ません』、『神よ、あなたに信頼をし、あなたの言葉を素直に聞き取ることが出来ません』、『助けて下さい』、そう神ににじり寄るようにして求めて良いのです。

この舟旅は弟子たちに信仰を与えるための旅でした。私たちの人生も、主イエス・キリストが私たちと共に歩み、信仰を呼び起こし、その信仰を堅くして下さる旅です。信仰を持ち得ない者にも主イエスの側から近づき、一緒に舟に乗り込んで、信仰を与えて下さいます。この舟に、自分の人生に、主イエス・キリストと一緒に乗っていて下さる。共に歩いて下さる。主イエス・キリストは私たちが神に信頼をしてこの旅を続けることが出来るように導いて下さいます。

主イエス・キリストが共におられる舟旅は、豊かな恵みと平安に満ちた旅です。嵐の中で舟が翻弄されているようであっても、必ず目的の港に着く旅です。主が共におられるからです。御自分の命を与え尽くしてまで私たちに命を与えて下さった御方が、永遠に変わることなく私たちと共にいて下さいます。主イエス・キリストは風と海をお叱りになりながら、私たちの弱さに目を留めて憐れみ、信仰を与えて下さる救い主です。この方に、私たちはいつでも心の目を向け、『主よ、お助け下さい。この私に信仰を与え、希望を与え、私の歩みを堅く立てて下さい』と願って良いのです。私たちが呼びかけることを主は待っておられ、その願いに答えて下さいます。この御方が、私たちすべての人の救い主です。

(記 説教要約奉仕者)